

試験③：直接埋設，小型ボックス活用埋設の 施工性確認試験

1. 概要

試験③：直接埋設，小型ボックス活用埋設の 施工性確認試験

(1)試験目的	直接埋設，小型ボックス活用埋設を現地で施工することにより， 施工上の課題や配慮事項を確認
(2)試験場所	一般国道49号 水原バイパス地内道路建設現場(北陸地整)
(3)実施時期	平成26年10～11月頃
(4)実施主体	総務省，経済産業省，国土交通省
(5)実験協力	国総研，北陸地整，電気・通信事業者(電気事業連合会，NTT， 日本ケーブルテレビ連盟)
(6)試験内容	以下の項目について現地での施工性を確認 ・直接埋設，小型ボックス活用埋設の通常部，特殊部，分岐部 ・各種ケーブル

2. 試験施工を実施する場所

試験施工は、新潟県阿賀野市の国道49号水原(すいばら)バイパスの工事現場にて実施



3. 試験施工の内容

直接埋設，小型ボックス活用埋設について試験施工を実施

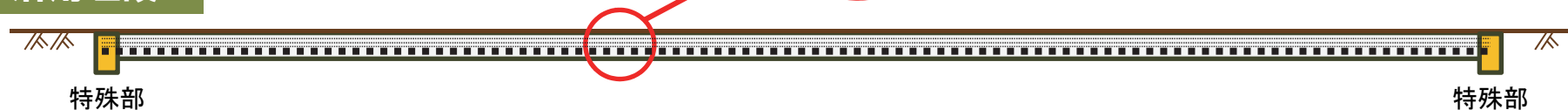
なお，小型ボックスの断面については試験②の結果を参考に決定

- 1) 小型化された通常部や特殊部，分岐部を施工し施工性を確認
- 2) 各種ケーブルを敷設し，ケーブルの施工性を確認

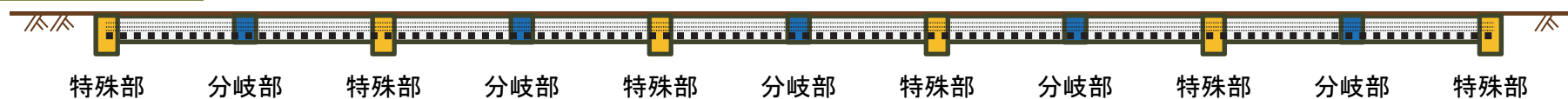
直接埋設



小型ボックス活用埋設



特殊部 分岐部



4. 試験施工で確認する項目

1) 小型ボックス本体(通常部及び特殊部), 舗装の施工

- 小型ボックス(通常部, 特殊部, 分岐部), 舗装の施工性
- ケーブルの敷設作業性(通常部, 特殊部, 分岐部)
- 作業手順
- 日あたり施工量

2) 直接埋設について

- 特殊部, 分岐部, 舗装の施工性
- ケーブルの敷設作業性(通常部, 特殊部, 分岐部)
- 作業手順
- 日あたり施工量

5. 確認事項

1) 小型ボックスの標準的な断面の設定

- ・試験②の最小離隔を反映した小型ボックスの標準的な断面の設定

2) その他

- ・直接埋設における障害や更新時の施工方法

➡ 次回委員会で確認の予定